

# 予防接種が推奨される風しん抗体価について

出典：厚生労働省健康局結核感染症課ホームページ

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/140425\\_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/140425_1.pdf)



## 予防接種が推奨される風しん抗体価について(HI法)

抗体価 HI法*	妊娠を希望する女性など***、 より確実に予防を行う必要がある方	左記以外の方
8倍未満	免疫を保有していないため、 <u>風しん含有ワクチンの接種を推奨します。</u>	
8倍・16倍	過去の感染や予防接種により風しんの免疫はありますが、風しんの感染予防には不十分です。そのため、感染によりお腹の赤ちゃんなどへ影響が生じる可能性があります。 <u>確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を推奨します。</u>	過去の感染や予防接種により風しんの免疫があり、風しんの発症や重症化を予防できると考えられます。 確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を希望される方は、かかりつけ医等と接種についてよく御相談されたい。
32倍以上	風しんの感染予防に十分な免疫を保有していると考えられます。 風しん含有ワクチンの接種は、基本的に必要ありません。	

\* HI法: Hemagglutination Inhibition test (赤血球凝集抑制法)

\*\*\*「十分な免疫を保有していない妊婦」の同居者など

- 1回の予防接種で約95%の方が免疫を獲得します。また、2回の予防接種を受けることにより、免疫を獲得することがより確実(約99%)となります。
- 予防接種のワクチンは、麻しん対策も考慮して「麻しん風しん混合ワクチン」を推奨します。
- 本資料は「風しんに関する小委員会」での議論を踏まえて作成した目安(考え方)であり、個々の予防接種の必要性については接種希望者が直接医師と御相談されたい。



# 予防接種が推奨される風しん抗体価について(EIA法)

抗体価 EIA法*	妊娠を希望する女性など***、 より確実に予防を行う必要がある方	左記以外の方
陰性 又は 判定保留**	免疫を保有していないため、 <u>風しん含有ワクチンの接種を推奨します。</u>	
陽性** (EIA価8.0未満 又は 国際単位①30IU/mL未満、国際 単位②45IU/mL未満)	過去の感染や予防接種により風しんの免疫はありますが、風しんの感染予防には不十分です。そのため、感染によりお腹の赤ちゃんなどへ影響が生じる可能性があります。 <u>確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を推奨します。</u>	過去の感染や予防接種により風しんの免疫があり、風しんの発症や重症化を予防できると考えられます。 確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を希望される方は、かかりつけ医等と接種についてよく御相談されたい。
陽性** (EIA価8.0以上 又は 国際単位①30IU/mL以上、国際単位② 45IU/mL以上)	風しんの感染予防に十分な免疫を保有していると考えられます。 風しん含有ワクチンの接種は、基本的に必要ありません。	

\* EIA法: Enzyme Immunoassay (酵素抗体法)

\*\* EIA価はデンカ生研社製、国際単位①(IU/mL)はシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社、極東製薬工業株式会社、国際単位②(IU/mL)はシスメックス・ビオメリュー株式会社、ベックマン・コールター株式会社製の風しんIgG測定キットを使用した場合の判定基準である。

\*\*\*「十分な免疫を保有していない妊婦」の同居者など

- 1回の予防接種で約95%の方が免疫を獲得します。また、2回の予防接種を受けることにより、免疫を獲得することがより確実(約99%)となります。
- 予防接種のワクチンは、麻しん対策も考慮して「麻しん風しん混合ワクチン」を推奨します。
- 本資料は「風しんに関する小委員会」での議論を踏まえて作成した目安(考え方)であり、個々の予防接種の必要性については接種希望者が直接医師と御相談されたい。